



令和7年 皇月

城北中だより

城北中学校教育目標

- 思いやりのある生徒
- 真剣に学ぶ生徒
- 健康な生徒

みんなで創り上げたステキな体育祭…ありがとうございました。

※校長の言葉は不要な体育祭でした。本校の生徒たちはステキです。

校長 和田 卓也

【開会の言葉】～生徒会長～

今日は、いよいよ体育祭の当日になりました。一度延期にはなったものの、今日開催できたことを嬉しく思います。今日まで、それぞれのクラスが、一つの目標に向かって全力で練習を重ねてきました。時には上手くいかないこともありました。が、クラス全員で協力し、頑張ってきました。今年の体育祭のスローガンは、「笑顔で暴れろ！ 最高の瞬間が待っているぞ！」です。このスローガンには、楽しむことを忘れず、常に前を向き、自分の力で最高の瞬間を作り上げるという意味が込められています。最高の瞬間を全員で迎えるために、笑顔で暴れましょう。



【選手宣誓】～体育祭実行委員～



我々選手一同は、今日この体育祭を迎えられたことに心から感謝をし、全力で駆け抜けます。毎日支えてくれる家族、熱心に指導してくださる先生方、そして練習を通して絆が深まった仲間たちの存在が、我々選手たちの力になっています。体育祭のスローガンである「笑顔で暴れろ！ 最高の瞬間が待っているぞ！」を胸に抱き、声がかかるまで応援し、足が動かなくなるまで全力で走りぬきます。勝敗以上に大切なものを見つけ、悔し涙も笑い声も全部この一日に詰め込んで、体育祭という名の青春を楽しみ、この一日が私たちの誇れる最高の物語になるように、全力で駆け抜けることを誓います。

【体育祭を振り返って…】～体育祭実行委員長～

皆さん。体育祭お疲れさまでした。このような晴天に恵まれて体育祭を行えて良かったと思います。今年は「笑顔で暴れろ！ 最高の瞬間が待っているぞ！」というスローガンのもと、体育祭を行いました。互いに力を合わせ、仲間との絆を深めあえていたと思います。体育祭は、勝敗がつきもので、優勝をねらって努力するクラスがほとんどでしたが、良い結果が得られたクラスもそうでないクラスも一致団結して楽しみながら全力で行っていました。体育科の先生をはじめとする体育祭を運営してくださった先生方。体育委員を中心にこの体育祭を創りあげてくれた生徒の皆さん。その生徒達を支え、応援してくださった保護者（地域）の方々。たくさんの支えがあってこそ、最高の体育祭が成り立つのだと実感しました。体育祭が行えたことに感謝し、この城北中の伝統を今後に繋げていけるよう、先輩として後輩に良い姿を見せていきたいです。





【閉会の言葉】～生徒会副会長～

皆さん、体育祭は楽しめましたか？

わたしは、体育祭を通してクラスの絆がより深まったと思います。この体育祭でできた絆を今後の学校生活で活かしていきます。これで、令和七年度さいたま市立城北中学校体育祭をおわりにします。

【保護者の皆様へ】

1. 御礼（ご協力ありがとうございました。）

体育祭延期についての前日決定（連絡）や今年度の本校の工夫（①入場場所を変更し、保護者の観覧場所を広げたこと ②新種目「忍者リレー」の導入や「ハリケーン」の工夫 ③保護者受付の工夫 等）について、様々なところで「いいですね！！」と保護者の皆様からお声掛けいただけたこと…嬉しくなりました。また、PTA役員の方を中心にした受付をはじめとする運営面での様々なご協力…本当にありがとうございました。改めて感謝申し上げます。

2. ご連絡（硬筆について）

本校では、さいたま市硬筆展覧会に参加するため、全ての学年で練習が始まります。6月の校内審査で代表となった場合、さいたま市硬筆展覧会や硬筆中央展覧会（埼玉県）での作品展示及びホームページへの名前の掲載（上位入賞者のみ）の可能性があります。この点について、不都合がありましたら、学年の国語科へご連絡をお願いいたします。ご連絡がない場合には、了承をいただいたものとして硬筆展覧会へ参加させていただきます。